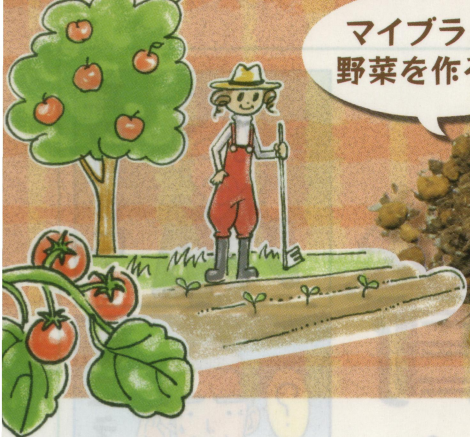


マイブランド
野菜を作ろう!

2月

菜園くらぶ

監修/帖地 近行



- 用意するもの(1㎡当たり)
- 種子
 - 苦土石灰(100g)
 - 元肥(完熟堆肥2kg、化成肥料80~100g(3、4握り)または鶏ふん200gと油かす60g)
 - 追肥(化成肥料25g)
 - 敷きわらまたは寒冷紗か不織布

栽培カレンダー



【アブラナ科・中国原産】
生育期間が短く、暑さ寒さに強いので育てやすく年間を通じて栽培できます。葉質は柔らかく、煮ても炒めてもおいしいので、葉物野菜が少ない夏場に重宝します。同じ形で葉柄の白い「パクチヨイ」もあります。



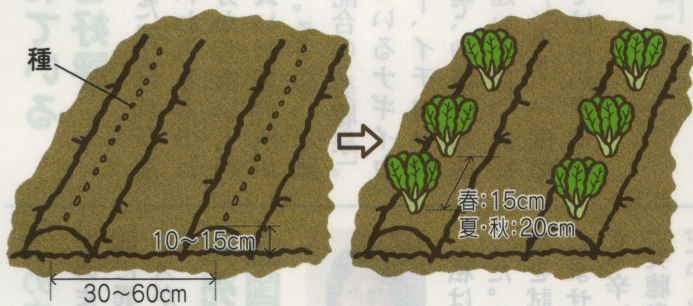
用途が広い中国野菜 チンゲンサイ

収穫まで
約2カ月!

栽培手順

1 種まき

種まきの2週間前までに苦土石灰を全面に散布し、よく耕しておく。1週間後に元肥を施し、よく混ぜて高さ10~15cmほどの畝を作る。2列に植えるときは、季節によって畝幅を変える(春まき・30~40cm、夏・秋まき・60cm)。
1週間後、深さ1cmぐらいのまき溝を作り、1cm間隔で種を筋まきして5mmぐらい土を被せて軽く押さえ十分に灌水する。乾燥しないようにわらや枯れ草などを被せておく(寒冷紗、不織布でトンネル掛けするとよい)。



2 管理

○間引き: 発芽したら葉が重ならない程度に間引きしていく。本葉5枚のころに株間15cm(夏・秋まきは20cm)に間引きする。

○追肥: 春まきは追肥をしなくてもよいが、様子を見て必要であれば本葉5、6枚のときに除草と中耕をし、肥料を畝に沿って筋まきし土寄せする。

※夏・秋まきは生育期間が長いので、30cmぐらいの大株に育てるには春まきよりも多めに肥料を施し、早め早めに間引きを行って株間を十分にとる。

3 収穫

春まきはトウ立ちしやすいので早めに収穫する。夏・秋まきは大株になって柔らかいので長期間収穫できる。少量ずつ何回かに分けて種をまくのが、長期間にわたって収穫できるコツ。

ポイント

- ・日当たりと排水の良い場所を選ぶ。
- ・連作はしない。
- ・発芽するまで乾燥させない。
- ・病害虫よけに寒冷紗や不織布でトンネル掛けするとよい。